けやき通信 2019.6月 No.312

— 錦織 佳代子 —

フィンランドから 一家4人。にぎやか!!

6月10日～27日

はじめまして

みれいちゃん 7カ月

人参・キューリのおしゃぶり。スイカはしゃぶりつくしてはなさない。

手足長く元気!! ハイハイして好奇心いっぱい。表情ゆたか!

フィンランドの小学校は2カ月半の長い夏休み。8月から二年生に。一、二年の授業は午前中だけ。夏休みは、本を読んでいっぱい遊びましょう。

とのこと、宿題もなし。

とりう 鳥生小学校に 5日間 体験入学

すぐにクラスの人気者に。日本の学校、もっと行きたい～。水泳はお手本に!

日本食 なんでも好き

タパニ 194cm

ハワタ 八幡万十 大好き

子どもの世話、妻の注文、ほんとうによくする。

サラリーマンの夏休みは4～5週間

温泉よかった～

カヤ

刺身、鯛めし、鯛塩、焼き、茶わんむし、天ぷら、野菜(GORI)も甘くておいしい。

寿司……

竹笛も作った

コップも

竹(フィンランドにはない)の好きなこうたろうに作って、笛の音すごいね。

離乳食作りはよくする。2人目になると子育て大らか～。

タパニとコーヒー店もやってる。

Maja(マヤ)(秘密基地) café

コーヒーの味もさすが!

フィンランドの菓子パン シナモンロールを作ってくれた。

豚肉とかぼちゃのしょうゆ炒め

テレビでチラッと見て、調味料はしょうゆだけ。

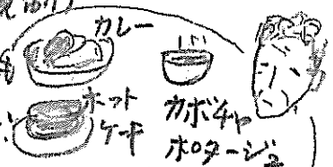
豚バラうす切り 200g 1口大に切る
かぼちゃ $\frac{1}{8}$コ 8ミリくらいに切る
ニラ 50g ($\frac{1}{2}$ 7) 長めに切る

かんたん おいしい

- フライパンに油をしかず肉を入れ かぼちゃも入れて いっしょに炒める。焼色がついて火が通ったら、しょうゆ大サジ1と$\frac{1}{2}$入れてまぜ、ニラを入れ、しんなりしたら出来上がり

海へ行ったり、谷川で泳いだり、友人に招かれたり、畑へ行ったり、尾道一泊で神戸の友人と会ったり。27、28、29日神戸泊り、30日関空発。G20大阪開催で荷物も早く送る。(交通規制)

GORIさんも何かと忙しい。



キューリ、ナス、ズッキーニ、オクラ、レタス、玉葱、人参、じゃがいもいろいろ

はんはん はんはん はんはん ひる ひる あさ あさ 朝 昼 晩

母のところも

男手があるから助かる。手のあいたときはコロンと横になってやすむ。

なんにしよう～ なんにしよう～ 買い物、段取り～

わたしの頭の中はごはんのことでいっぱい

ことしも緑のカーテンゴーヤのつるが暑い中、ぐんぐん伸びて実もついてる。ケヤキの木影も涼しい。

読書ノート

● 戦禍の記憶 大石芳野 (株)クレヴィス

テレビ「日曜美術館」で大石さんのお顔を見て、年齢を超えた美しさを感じた。75年を生きてきた内面の強さ、あたたかさ。

20世紀は戦争の時代であった。今も痛々しい戦禍の記憶とともに生きる世界中の人々と向き合う。この写真集を数ページ繙くうちに、私の体は硬直して息が詰まりそうになる。ベトナム戦争、枯葉剤……私の記憶の片隅で消えかかっていた―。

半世紀近くにわたって最前線で取材を続け、対象に鋭く迫る。撮影した人たちを長い年月追い続け、交友を持つ。

ベトナム、カンボジア、ラオス、チェルノブイリ、アウシュヴィッツ、アフガニスタン……、ヒロシマ、ナガサキ、沖縄、旧日本軍731部隊……。第二次大戦とそれ以降の戦争の残虐性、非人間性を、この1枚のポートレートの少年や少女、老いた人たちの眼差し、その背後にあるその人の人生から想像しよう。とり返しのつかない歴史……。

● ゾマーさんのこと

パトリック・ジュースキント ジャン＝ジャック・サンペ 絵 池内紀訳 文芸春秋

時々ふと手にしたくなる本、淡い水彩画のサンペの絵が本の世界に誘ってくれる。ゾマーさんという不思議な人、雨の日も風の日も、ステッキ片手にただ黙々と歩いている人、戦争の影、語り手の少年時代の思い出と重なって、ゾマーさんは私の胸にも。

みれいちゃんは、数日のうちに、じいちゃん、ばあちゃんを認識して、声や、笑顔、微妙な表情で応え、意志表示しだした。おにいちゃんには特別のよろこびよう。赤ちゃんのときからいろんな人に接するのは大事よね。

● 訂正 310号の四ヶ嶺標高は1278メートルです。現役山男の庄八さんが知らせてくれました。